



お台場学園だより



令和7年12月号
港区立小中一貫教育校
お台場学園港陽小・港陽中学校
〒135-0091 港区台場 1-1-5
小学校 03-5500-2572
中学校 03-5500-2575

愛があふれる学校 お台場から世界へ

校長

今年も残りわずかとなりました。

お台場学園の子どもたちは、この一年で心も体も大きく成長しました。日々の努力や意欲的な挑戦が、たくさんの笑顔と感動を生み出したのです。一方で、まだまだ課題もたくさんあります。ぜひご家庭でも、この一年を振り返りながら、来年に向けて新しい目標を立てましょう。その際には、学校の教育目標を理解し、単にできることややりたいことだけでなく、将来どんな人になりたいかを考えることが大切です。「人にやさしくできる人」「挑戦を楽しめる人」など、理想の姿を思い描くことで、目標が具体的になっていきます。お子さまの未来への第一歩を一緒に考えてみてください。

<教育目標と目指す学校像>

本校の教育目標は

「心豊かで思いやりのある人」「自ら考え自ら学ぶ人」
「心身ともに健やかな人」

の三つです。これらは、子どもたちが社会で生き抜くための基盤であり、目指す学校像である「愛があふれる学校」「お台場から世界へ～世界で活躍できる人材を育成する学校～」と深く結びついています。この教育目標を実現することで、子どもたちが愛に満ちた環境で成長し、未来社会に貢献できる人材へと育つ学校を目指します。

<心豊かで思いやりのある人>

知識や技能の習得以上に、人としての温かさや他者を大切にすることは、人とのかかわる上で大変重要です。心豊かな人は様々なことに感謝の気持ちを持ち、自然や文化に親しみ、日常の中で幸せを見つけることができます。そして、思いやりのある人は、相手の立場に立って考え、行動することができます。この二つが育まれることで、学校は「愛があふれる場所」となり、子どもたちは互いに支え合いながら成長します。

日々の授業や生活の中では、対話を大切にし、協力する場面を積極的に取り入れています。小さな「ありがとう」が飛び交う教室、困っている友達に自然と手を差し伸べる姿、そんな光景が広がる学校を目指しています。心豊かで思いやりのある人が育つことは、未来の社会に希望をもたらすことにつながります。

<自ら考え自ら学ぶ人>

社会は今、急速に変化し、正解が一つではない時代を迎えています。その中で必要なのは、主体的に学び続ける姿勢です。自ら考える力は、物事を深く理解し、自分の意見をもつための基盤です。そして、自ら学ぶ力は、失敗を恐れず挑戦し、必要な知識や技能を自分で獲得する力です。この二つが育まれることで、子どもたちは未来を切り拓く力を身に付けます。

本校では、探究的な学習や協働的な活動を通して、子どもたちが「なぜ?」と問い、「どうすれば?」と考える場を大切にしています。自分で調べ、仲間と議論し、試行錯誤する経験を積むことで、学びはより深く、より楽しいものになります。自ら考え、自ら学ぶ人が育つことは、世界で活躍できる人材への第一歩です。

<心身ともに健やかな人>

健やかな体は、運動や食生活、生活習慣を通して育まれます。これは学校だけでなく家庭でも大切なことです。そして、健やかな心は、安心できる環境、信頼できる人間関係、自己肯定感を高める経験から生まれます。

学校では様々な場面で、子どもたちが自分を大切に、仲間と協力しながら前向きに挑戦できる場をつくっています。子どもたちが笑顔で学び、安心して過ごせる学校づくりを進めながら、健やかな成長を支えていきます。心身ともに健やかな人が育つことで、どんな時代も生き抜く力を身に付けることができます。

【11月ふれあい月間を終えて】

先月は、いじめ等の問題行動や不登校等の早期発見・早期対応、未然防止につながる取組を実施する『ふれあい月間』でした。本校では全校道徳で各学級ともに「よりよい学校生活や集団生活の充実」を目指した授業を行ったり、11/18(火)～11/21(金)には代表委員会・児童会による朝のあいさつ運動を行ったりしました。4年生以上は各学級での学校生活における満足度や適応、いじめや不登校のリスクを把握するための WebQU も行いました。結果は小学校、中学校ともに今月の個人面談時に返却いたします。ご家庭におかれましても、お子さんの学校生活を知り、話すきっかけとして是非ご活用ください。今後も児童・生徒たちの小さな変化に目を向け、ご家庭と協力して子供たちの安心・安全を守っていけるよう教職員一同、指導してまいります。(本校ホームページに掲載されている『いじめ防止基本方針』もご一読いただけますと幸いです。) 2025年も残すところ約1か月となりました。寒さや病気に負けず、残りの学校生活も健やかに過ごしていけるよう願っています。

(生活指導主任)

第7学年より

入学して半年以上が経過し、ずいぶんと学校生活に馴染んでいるようです。この学年の生徒は、行事になると大きな力を発揮し、大切なことを学び成長します。5月の合同運動会では、一人一人が仲間の歯車となるよう一生懸命走り、6月の移動教室では、仲間と協力して物事に取り組む大切さを学びました。学芸発表会では、自分たちで考え、力を合わせてよりよい物を作り上げるすばらしさを学び、移動教室の経験が活かされたようです。今年度は音楽交歓会にも加わり、上級生と一生懸命に歌うこともできました。明るく素直で、活発な学年です。新しいことに進んで挑戦しようとする積極性も見受けられるようになりました。学校生活が習慣化されて、「良い慣れ」が身についている一方、「悪い慣れ」もまだ残っています。それは、「自分、自分たちを律すること（自律）」に対する考えが甘いことです。これが一番の課題です。学年目標である「凡事徹底」、話す・聞く・書く・行動するなどの日常の切り替えが早く、スムーズになってほしいと考えています。また、提出物の提出の悪さが目立ちます。将来困ることのないよう、期日を守り、早く提出することを心掛けてほしいです。エネルギーのある学年、この良さを活かしつつ、より良い個人・集団になるよう進んでいきます。（第7学年）

学芸発表会

今年度は、2年ぶりに小中合同の学芸発表会となりました。学園全体のスローガン「心一つに!みんなが主人公のステージ!」を合言葉に、「音楽発表」や「演劇発表」に取り組みました。

1・3・5年生、中学生の音楽発表では、各学年の発達段階に応じた合唱と合奏を、これまでの音楽の授業で積み重ねた練習の成果を、力強く披露してくれました。振りをつけたり、セリフを交えたり、新しい楽器に挑戦したりと、それぞれの工夫や頑張りが随所に見られました。

2・4・6・7・8・9年生は、さまざまなテーマの劇に取り組みました。2年生は挑戦すること、4年生は面倒なこともきちんとやること、6年生は勧善懲悪、7年生は未来のために今できること、8年生は主体性をもって取り組むこと、9年生は自分で自分の道を選択すること。どの学年も自分の役になりきり、自分の役割を果たし、学年全体で劇を作り上げることができました。

また、係児童や開会式の1年生、閉会式の9年生など、学年以外の役割を果たした子供も多くいました。

限られた時間の中でも一生懸命練習することによって、終わった後の大きな達成感を得ることができたと思います。一生懸命取り組むからこそ、仲間と話し合ったりぶつかったり、自分の殻を破ろうと悩んだりすることたくさんあったはずです。ぜひ、学芸発表会を得て学んだことや感じたことを、普段の学校生活につなげていってほしいと思います。

（学芸発表会担当）

【12月の主な行事】

- 2日（火）委員会（中学校）
- 3日（水）避難訓練、三者面談始～10日（水）（中学校）
- 4日（木）社会科見学（3年）
- 5日（金）委員会（小学校）
- 6日（土）お台場マラソン
- 8日（月）マイスクール PR コンペティション（5年、生徒会）
- 9日（火）音楽鑑賞教室（9年）
- 10日（水）TGG（6年）
- 11日（木）書初め指導教室（3年）
- 12日（金）クラブ（小学校）
- 13日（土）MINATO リズムダンスフェスタ
- 15日（月）個人面談始～19日（金）（小学校）、入試相談始（中学校）
- 16日（火）算数検定、数学検定
- 17日（水）音楽鑑賞教室（5年）
- 22日（月）給食終、美化活動（中学校）
- 23日（火）終業式
- 24日（水）冬季休業日始～1月7日（水）
- 26日（金）学校閉庁期間始～1月3日（土）
- 1/8日（木）3学期始業式、書初め会（中学校）



【スクールカウンセラー 相談曜日】

- 安間 明子 火曜日（小学校）
- 吉原 道代 木・金曜日（小・中学校）
- 原 由美子 月曜日（中学校）

【スクールソーシャルワーカー 相談曜日】

- 藤原 遥 金曜日（小・中学校）

【電話連絡先】

- 小学校 03-5500-2572
- 中学校 03-5500-2575

